

7月定例記者会見 市長あいさつ

皆さま、こんにちは。

連日、厳しい暑さが続いております。

この暑さによって、全国各地で熱中症の疑いで救急搬送される方が増加しております。皆さまにおかれましては、暑さ対策と水分補給に注意しながらお過ごしいただければと思います。

さて、そのような暑さの中、先日開催されました第107回全国高校野球選手権茨城大会の決勝戦において、茨城県立藤代高等学校硬式野球部が、大会準優勝と大健闘をされました。

延長10回にも及ぶ接戦の末、惜しくも甲子園の切符を逃す結果となりましたが、選手たちが最後まで諦めずに全力でプレーする姿は、取手市民のみならず、多くの方々に感動を与えてくれたことと思います。

また、選手を支えてこられた監督や保護者の皆さま、そして応援して下さった市民の皆さまにも深く感謝を申し上げます。皆さまの支えがあったからこそ、選手たちはここまでの素晴らしい戦いを見せることができたのだと思っております。

優勝されました明秀学園日立高等学校硬式野球部の皆

さんには、茨城県代表として甲子園での活躍を心からお祈り申し上げます。

藤代高等学校硬式野球部の皆さん、本当にお疲れさまでした。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、「取手消防署 消防司令が パワーリフティング & ベンチプレス 国際大会で優勝」についてです。

7月5日（土曜日）から13日（日曜日）にかけて、兵庫県姫路市で開催されましたパワーリフティングの国際大会、「2025 アジアン・アフリカン・パシフィック パワーリフティング & ベンチプレス チャンピオンシップ」において、取手消防署の^{えびはらたかはる}蛭原孝晴 消防司令が、「59キログラム級 40歳代の部」で見事優勝いたしました。

パワーリフティングは、スクワット、ベンチプレス、デッドリフトの3種目の最高挙上重量の合計で競うスポーツで、蛭原 消防司令は、この大会で3種目と合計挙上重量のすべてにおいて、アジア記録を更新しました。

蛭原 消防司令のこれまでの努力と成果を称えとともに、今後のさらなる活躍を期待しております。

次に、「埋蔵文化財センター第55回企画展開催」についてです。

55 回目を迎える今回の埋蔵文化財センター企画展では、「文化財に託されたおもい」と題して、江戸時代初めに作られた、取手市指定有形文化財「絹本金箔地刺繡釈迦涅槃ねはんず図」を公開展示し、この文化財の詳細調査の成果を中心に、市内の指定・登録文化財を紹介いたします。

この涅槃ねはんず図は、幅約 2 メートル、長さ約 3.6 メートルの非常に大きな掛け軸で、表面すべて刺繡で作成されており、7,000 人以上の寄進者の名前が縫い付けられている郷土資料としても大変貴重な文化財でございます。

今回の企画展は、市内に所在する国・県・市の指定・登録文化財すべてを紹介する初めての企画となっておりますので、ぜひ、この機会に多くの方にご来場いただき、貴重な文化財をご覧くださいと思います。

以上で、私からの説明を終わります。